

会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回上尾市廃棄物減量等推進審議会	
開催日時	令和6年8月5日（月） 14時00分～15時30分	
開催場所	上尾市役所本庁舎 議会棟4階 全員協議会室	
議長(委員長・会長)氏名	長谷川 三雄	
出席者(委員)氏名	新道 龍一、荒川 昌佑、宮本 利章、黒須 明、浅野 和男、 山本 和義、西脇 正典、安藤 由美、工藤 廣一、石上 道男、 森田 治孝、大木 保司 以上13名	
欠席者(委員)氏名	高橋 吉博、吉田 健太郎 以上2名	
事務局(庶務担当)	藤田環境経済部長、田中環境経済部次長併農業員会事務局長、 吉川生活環境課長、小林西貝塚環境センター所長、大竹環境政策課長 西貝塚環境センター 新井主幹 環境政策課 大橋主査、櫻井主任、中村主任（書記）	
会 議 事 項	1 会議内容	2 会議結果
	議事1 「上尾市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」に基づく令和5年度ごみ減量化等の取り組み状況について 議事2 令和6年度一般廃棄物処理実施計画の概要について 議事3 上尾・伊奈ごみ広域処理事業について 議事4 ごみの分別について その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 副会長に宮本委員が選出された。 ・ 議事1、議事2、議事3、議事4いずれの議事についても、事務局の提案どおり承認された。
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 1名
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度第1回上尾市廃棄物減量等推進審議会 次第 ・ 上尾市廃棄物減量等推進審議会 委員名簿 ・【資料1-1】 「上尾市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」に基づく令和5年度ごみ減量化の取組状況について ・【資料1-2】 令和5年度施策の取組状況 ・【資料2】 令和6年度上尾市一般廃棄物処理実施計画 ・【資料3】 上尾・伊奈ごみ広域処理事業について ・【資料4】 ごみの分別について ・【当日配布】 令和6年度第1回上尾市廃棄物減量等推進審議会 席次表 	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 令和 6 年 8 月 23 日 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> 議長(委員長・会長)の署名 議長に代わる者の署名 (議長が欠けたときのみ) </div> <div style="text-align: center;"> <u>長谷川三雄</u> _____ </div> </div>		

議事の経過

議事1. 「上尾市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」に基づく令和5年度ごみ減量化等の取組状況について

→承認

(議事要旨)

【資料1-1】【資料1-2】に基づき、令和5年度ごみ減量化等の取組状況について説明した。

- 当計画は、令和5年度～令和14年度までの10年間を計画期間としている。
- 基本理念として「みんなで実現 ごみを減らして資源を循環させるまち」を掲げており、当計画の目標として、「1人1日あたりの家庭系ごみ排出量を、基準年である令和3年度から100g減らし、目標年度である令和14年度までに440g、基準年比81.5%に抑制する」としている。
- 令和5年度ごみ排出量実績として、【1人1日あたりの家庭系ごみの総排出量】【事業系ごみ総排出量】【総ごみ排出量】について説明した。
- 「令和5年度施策の取組状況」については、「食品ロス」の削減として県下一斉フードドライブの開催、広報あげおやホームページにおいての周知を行っていることや「小型家電リサイクルの推進」として市内9か所の公共施設に回収ボックスを設置し、資源循環を推進していること。「広域化を見据えた効率的な収集・運搬体制」では、プラスチックの資源化に向けた埼玉県の実証実験に参加していることや分析を行ったことを説明した。「広域による新しい施設の整備」では、令和5年4月に上尾伊奈資源循環組合を設立し、「上尾伊奈ごみ広域処理施設整備基本構想」を策定したことを説明し、最後に、「各種イベントの啓発」では、上尾市環境推進大会2023の開催や上尾環境賞、パネル展等を通じて、ごみ減量に関する啓発活動を行ったことを説明した。

(質疑応答)

質問【安藤委員】	<ul style="list-style-type: none">① P.1【資料1-1】総ごみ排出量について、令和12年にごみの分別が入る。この計画目標は使えるのか。少し変わってくるのではないか。② P.3#1「買わない」「使わないの推進」について、Webサイトに掲載していることを知らなかった。あまり知られていないから周知を考えた方がいい。③ P.4#9「不要になった家具のリユース」について、どれくらい家具のリユースを活用しているのか。まだまだ周知が足りていないように感じている。ごみ分別アプリの利用者はどうなっているか。④ P.7#28「ごみ散乱防止」について、ポスターを自治会の掲示板等に掲出することで効果があるのか。もう少し効果的な取り組みがあると良い。⑤ P.8#30「市民との協働による美化活動の推進」について、クリーン上尾の取り組みが地域によって弱くなっていると感じる。一斉に行うのであれば、自治会に説明するなど方法を検討してほしい。
----------	---

<p>回答【事務局:大竹課長】</p>	<p>① 令和12年のごみの分別は現在、予定となっている。具体的になってきたところで再度検討していく。</p> <p>② 暮らしレシピにおいてふろしきを活用したマイバックを紹介している。ホームページや設置場所等今後も検討していく。</p> <p>③ リユースについてもホームページ等を活用し周知を図っていく。</p> <p>④ お子様にポスターを描いてもらうことで保護者の方々にも見てもらえる。SNS等を活用することも踏まえ今後検討していく。</p> <p>⑤ クリーン上尾は、ごみゼロの日や近い日に自治会にお願いしているが、行事と重なることもあり一斉は難しい。しかし、取り組みは有効であるため、たくさんの方々に参加してもらえるように周知を図っていく。</p>
<p>回答【事務局:小林所長】</p>	<p>③ リユース展示室の利用者数について</p> <p>令和4年度 178名 令和5年度 210名</p> <p>であったため増加している。引き続きホームページ等で周知を図っていく。ホームページについては、写真を掲載するようにしている。</p> <p>分別アプリの利用者数について、</p> <p>令和5年4月1日現在 17,740件 令和6年4月1日現在 23,975件</p> <p>ダウンロードがあった。表記については4か国語（日本語、英語、中国語、ベトナム語）に対応している。</p>
<p>回答【事務局:吉川課長】</p>	<p>④ ポスターがごみの減量につながっているという根拠はないかもしれないが、毎年100を超える作品が集まる。秋には作品を上尾駅自由通路に掲出し、小中学生が興味を持って作品を見て「住んでいるまちがキレイになることは良いことですね」という声もあるため有意義な活動だと考えている。</p> <p>⑤ クリーン上尾について、ほとんど全ての自治会が参加していて、地区によっては一斉に行っている地区もある。周知の方法について事務局で改めて検討していく。</p>

議事2. 令和6年度上尾市一般廃棄物処理実施計画の概要について

→承認

(議事要旨)

【資料2】に基づき、令和6年度一般廃棄物処理実施計画の概要について説明した。

- ・ 「計画処理量」については、基本計画の将来推計の数値となり、家庭系ごみは計画量47,609t、事業系ごみは計画量7,066tとなっている。
- ・ 家庭向けには、ごみ減量の周知として、ごみの分別等についての広報や、ごみ収集カレンダー、ごみ分別アプリ、西貝塚環境センター施設見学などで啓発活動に取り組んでいる。
- ・ 事業者向けには、月一回のごみ搬入の搬入検査を行っており、今後も引き続き行っていく。

- ・ 環境センターに持ち込まれた家具等のうち、まだ使用できるものをリサイクル品展示室に保管し、希望者に渡している。また、市役所、各支所・出張所に小型家電回収ボックスを設置し、回収したものを破砕して鉄やアルミとしてリサイクルしている。
- ・ 収集運搬は、2つの組合（上尾清掃事業協同組合、上尾資源回収事業協同組合）に委託し効率化を図っている。
- ・ 粗大ごみ戸別収集は、令和5年7月より一部委託化をし、予約枠を拡大した。
- ・ 最終処分場について、埼玉県環境整備センターと山形県米沢市のジークライト（株）、（株）ウィズウェイストジャパンの3か所に分割して搬入を依頼している。

（質疑応答）

質問【荒川委員】	P.8「10 その他資源化処理施設」のうち廃乾電池を北海道で処理しているがその理由は何か。
回答【事務局:小林所長】	乾電池については特別な処理が必要となる。埼玉県内全域が同じ場所に処理を依頼している。

議事3 上尾・伊奈ごみ広域処理事業について

→承認

（議事要旨）

【資料3】に基づき、令和5年度の進捗状況について説明した。

- ・ 令和5年4月に上尾伊奈資源循環組合が設立され主体となって事業を行っている。
- ・ 5月に伊奈町を主体に建設予定地となった伊奈町大字小室及び芝中荻区で説明会を開催した。
- ・ 6月から7月にかけて、建設予定地の地質・測量調査及び基本方針を定める業務委託を締結した。
- ・ 令和6年度については、「上尾伊奈ごみ広域処理施設整備基本計画」の策定及び「環境影響評価」の実施を予定していることを説明した。

（質疑応答）

質問【安藤委員】	消費者団体連絡会で埼玉県環境整備センターに視察へ行きオリックスのガス化プラントも見てきた。町田市でも行っているが、寄居と嵐山からでたごみをそのままビニール袋に入れて持ってきてベルトコンベヤーに載せ最終的にガスに変わる。こういった計画を検討してもらいたい。また、その時に市民の意見を出せる機会はあるのか。
回答【事務局:大竹課長】	新施設におけるごみ処理方法については、施設整備の検討委員会が開催されており、検討をしている。町田市と同様の処理方法とする場合、施設の大きさも変わってくるしタンクの設置が必要となり、施設が大型化する。この点を踏まえた上で、焼却方式にするのかバイオマスにするのか委員会で検討している。

また、市民の意見については、「環境影響評価」を実施している。市民・町民の意見を聞く機会がある。その際に意見をもらえば組合でその内容を必要に応じて反映させていく。

議事4 ごみの分別について

→承認

【資料4】に基づき、ごみの分別について説明した。

- ・ 令和7年度にごみの分別を決定し、令和8年度から周知を開始。令和12年度から新たな分別を実施していく。
- ・ 上尾市は現在プラスチックを可燃物としているが、伊奈町は分別してる。紙類について上尾市は雑がみを資源物としているが、伊奈町は可燃物としている。
- ・ 家庭系ごみ収集について、伊奈町はプラスチックの回収を毎週行っている。
- ・ 事業系ごみについて、伊奈町は資源物や古布類を受け入れているが、上尾市では受け入れていない。
- ・ 「上尾・伊奈広域ごみ処理基本計画」で定めた分別案では、プラスチックを新たに分別する。さらに、ビンだけを分別し、割れガラス等については不燃ごみとする。
- ・ 本審議会における6つの審議事項（案）について説明する。

(質疑応答)

質問【荒川委員】	審議会の所掌事務と上尾伊奈資源循環組合の所掌事務はどうなっているのか。
回答【事務局:櫻井主任】	組合の所掌事務としては、施設の整備を主に行う。その前段となるごみの分別や収集方法については、上尾市と伊奈町が行う。
質問【荒川委員】	プラスチックの収集について主に変わってくるということか。
回答【事務局:大竹課長】	現在では、可燃物として扱っている。今後は上尾市に限らず資源化していく。
質問【荒川委員】	今後の審議会では6つの審議事項について詳細な案を出してもらい審議するということか。
回答【事務局:大竹課長】	こちらで案を出し、その内容について審議してもらおう。

その他

→特になし